

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 25 日作成)

小委員会名	集落復興小委員会	主 査 名：後藤隆太郎 就任年月：2014 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会	委員長名：岡田知子
設 置 期 間	2014 年 4 月 ～ 2018 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：1)被災集落・地域における被害実態・復興過程を記録、2)居住地の復興計画社会的再建のあり方の議論、3)復興計画の支援。</p> <p>初年度：被災集落の調査研究を行い、復興過程について情報共有、現地等において復興過程に関する公開研究会、書籍等を編纂により研究成果を公開する。</p> <p>2 年度：建築学会大会時等において研究集会を企画実施する。</p> <p>3 年度：被災地域等において調査研究、居住地の復興計画や関する公開研究会等を実施する。</p> <p>4 年度：調査研究、および居住地の復興計画、社会的再建等のあり方を議論する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：後藤隆太郎 (佐賀大学) 計 13 名 幹事：佐藤栄治 (宇都宮大学)、三笠友洋 (神奈川大学)、鈴木孝男 (宮城大学) 委員：月舘敏栄 (八戸工業大学)、菊池義浩 (岩手大学)、沼野夏生 (東北工業大学)、大沼正寛 (東北工業大学)、重村力 (神奈川大学)、澤田雅浩 (長岡造形大学)、山崎寿一 (神戸大学)、浅井秀子 (鳥取大学)、岡田知子 (西日本工業大学)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2014 年度予算	115,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. 2014年度農村計画委員会春季学術研究会「住み続けられる農村の計画、被災地で何が可能か？」 参加者数 36名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 農村計画委員会春季学術研究会「住み続けられる農村の計画、被災地で何が可能か？」の実施を通じ、被災漁村の生活再建の実情や課題の整理を行った。</p> <p>2. 当小委員会が中心となる共同研究（「東北日本沿岸地域の被災集落再生に向けた環境共生・参加型空間計画手法に関する研究」三井物産環境基金（東日本大震災復興助成（研究助成）、2011年7月～2014年9月）を継続して完了した。</p> <p>3. 『東日本大震災合同調査報告（建築編9）』における農村計画分野の編纂に関して、当小委員会が中心的な役割を担い、2014年度中の刊行に向けた議論や作業を行った。</p> <p>以上により、復興再生事例の収集、復興計画のあり方や支援を目的とした小委員会の当初の活動計画は十分に達成されたものといえる。</p>
委員会活動の問題点・課題	1. 研究助成獲得等による活動経費補填、若手研究者のさらなる参画が課題。